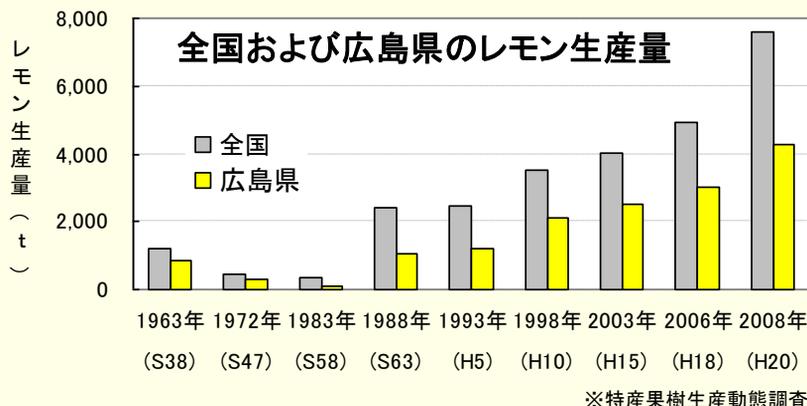


生産量日本一！ 広島レモンの生産概況

温暖で台風が少ない穏やかな気候の瀬戸内はレモン栽培に適します。広島県は1898年(明治31年)からレモン栽培に取り組み、栽培面積・生産量とも全国一のシェアを誇っています。

●広島レモンの起源と現状

広島県では、1898年(明治31年)の、大長村(呉市豊町大長【★印】)での試作に始まり、島しょ部を中心に栽培が広がりました。現在、広島県のレモン生産量は、4千tと全国生産量の57%を占めています。



●産地の特色

- 県内沿岸島しょ部地域で**安全で安心な栽培**(除草剤と腐敗防止剤の不使用)をおこなっています。また特別栽培認証制度(化学合成農薬, 化学肥料を慣行の50%以下)に取り組む産地もあります。
- 微細孔フィルム個別包装で鮮度保持効果を高めた長期貯蔵技術を柱に、**周年供給体制の確立**を進めています。
- レモンサイダーなど**独自の加工品**を手がけています。



写真(下)提供: JA広島果実連